

# 平成31年度 仙台市立秋保中学校経営計画

## ＜学校教育方針＞

仙台市の教育基本方針に則り、生徒の特性と地域社会の実態をふまえ、時代の変化に対応できる心身ともにたくましく、人間性豊かな生徒を育てる。そのために、生徒の自主性・創造性を高め、敬愛の精神を培うことに努め、調和のとれた学校経営を推進する。

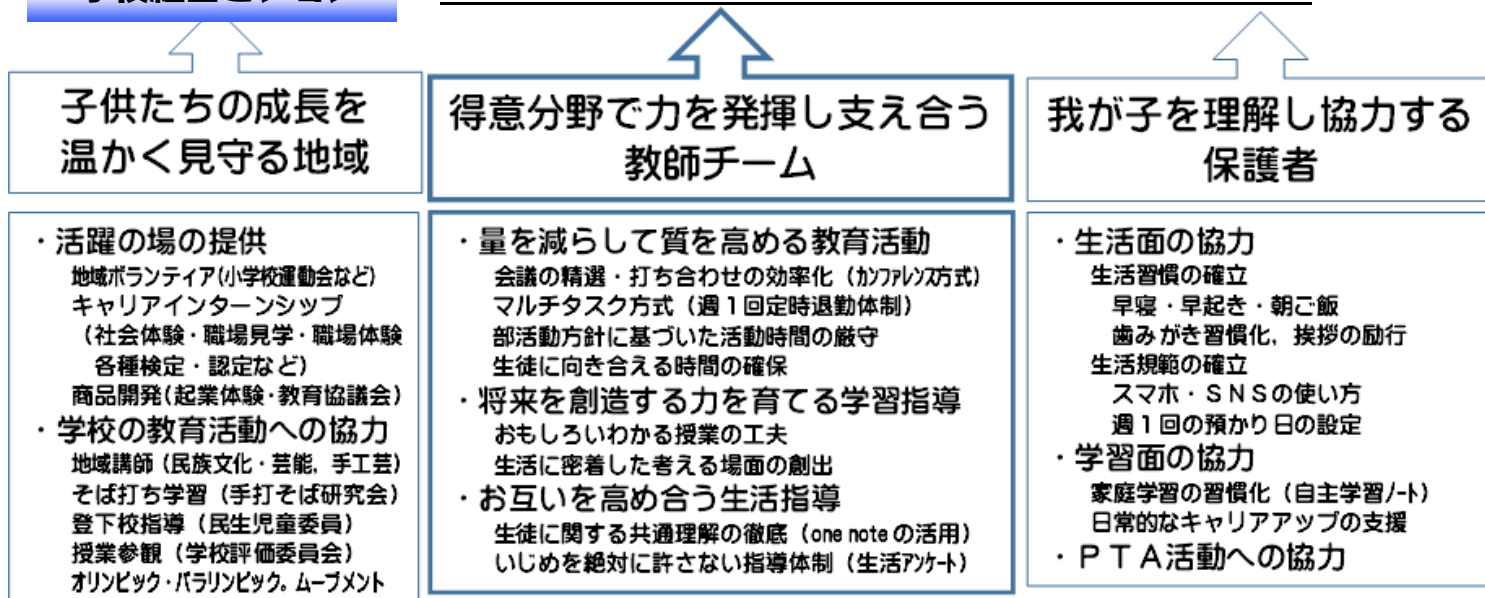
## 学校教育目標

### 笑顔で元気に社会に出て活躍できる生徒の育成

校 訓	敬 愛	体 力	向 学 心
目指す生徒像	心豊かで 思いやりのある生徒	心身ともにたくましく 健やかな生徒	仲間と共に深く考え 進んで学習する生徒
協働型学校評価 の重点目標	『将来に向けて自分を高めようとする子供の育成』（自主性・創造性） 『人とのつながりを大切にする子供の育成』（敬愛の精神） 『お互いを尊重し秋保の魅力を表現できる子供の育成』（SDGs ユネスコ精神）		

## 学校経営ビジョン

### ～学校・家庭・地域が一丸となった連携～



## 学校で取り組む具体的内容

### ① 豊かな心の育成

- 授業や諸活動を通しての望ましい人間関係づくり
- 生活アンケート・教育相談の充実
- 生徒主体によるいじめ防止活動の実践
- 考え、議論する道徳教育の実践
- 情報モラル教育の推進
- 認め合い・支え合う活動の推進
- 学校間交流の推進(4校合同合唱コンクール・ユネスコスクール国際交流)

### ② 健やかな体の育成

- 健康を意識した基本的な生活習慣の確立と食育の推進
- オリンピック・パラリンピック・ムーブメント
- 「歯の衛生モデル校」としての実践活動の推進(3年目最終年度)
- 体力向上を目指した運動の日常化

### ③ 確かな学力の育成

- 基礎的知識の定着・応用力の育成を目指した学習の推進
- 「家庭学習の習慣化」
- 平成31年度研究主題 「少人数を生かした基礎学力の定着～主体的対話的な深い学びを通して～」の実践
- 幼小中連携した授業づくりの実践による学力向上対策
- 外部講師の活用(音楽、美術、家庭)

### ④ 秋保版防災教育の推進

- 地域と連携した防災訓練の実施
- 防災対応力の育成(新防災副読本を生かしたカリキュラムの実践)

### ⑤ 未来の創り手となるための力の育成

- キャリアインターンシップを通じた職業観の育成
- 持続可能な地域文化の継承と表現
- 起業体験と職場体験を生かした自分づくり教育の推進
- ボランティア体験を通じた社会貢献活動の充実

# 持続可能な魅力ある地域とともに歩むユネスコスクール SDGs

8 働きがいも  
経済成長も



- 8.2 高付加価値セクターや労働集約型セクターに重点を置くことなどにより、多様化、技術向上及びイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成する。
- 8.6 2020年までに、就労、就学及び職業訓練のいずれも行っていない若者の割合を大幅に減らす。

→そば学習（そば検定）、マナー講習（マナー検定）、キャリアパスポート発行

9 産業と技術革新の  
基盤をつくろう



- 9.1 すべての人々に安価で公平なアクセスに重点を置いた経済発展と人間の福祉を支援するために、地域・越境インフラを含む質の高い、信頼でき、持続可能かつ強靱（レジリエント）なインフラを開発する。
- 9.2 包摂的かつ持続可能な産業化を促進し、2030年までに各国の状況に応じて雇用及びGDPに占める産業セクターの割合を大幅に増加させる。

→キャリアインターンシップ、職場体験、起業体験

10 人や国の不平等  
をなくそう



- 10.2 2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、すべての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。

→4校交流・ユネスコスクール交流、地域ボランティア活動  
オリンピック・パラリンピック・ムーブメント

11 住み続けられる  
まちづくりを



- 11.3 2030年までに、包摂的かつ持続可能な都市化を促進し、すべての国々の参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する。
- 11.4 世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全の努力を強化する。

→地域民族文化の伝承（芸術家派遣事業）  
手工芸作家等の地域特別非常勤講師活用

## 在籍数

学 年	第1学年			第2学年		第3学年		合 計
	A 組	ひまわり		A 組	A 組	ひまわり A組		
		A組	B組					
生 徒 数	18	1	1	28	30	1	79	

## 教科配当時数

	国 語	社 会	数 学	理 科	音 楽	美 術	保 健 体 育	技 術 ・ 家 庭	外 国 語	道 徳	総 合 的 な 学 習	特 別 活 動	総 授 業 時 数
第1学年	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	50	35	1015
第2学年	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	70	35	1015
第3学年	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	70	35	1015